

白神自然環境研究所教授会議事要旨

日 時：平成27年7月24日（金） 9時00分～10時45分

場 所：コラボ弘大8階 八甲田ホール（Cホール）

出席者：檜垣所長、石川副所長、殿内、本多、山岸、中村、東、丹波、松山、石田、
荒井、上條

欠席者：大高（委任状提出）

事 務：小田桐、成田、肥後

議事に先立ち、所長から、6月26日開催の教授会議事要旨（案）の確認が行われ、承認された。

【審議事項】

1. 白神岳への気象観測機器設置について

副所長から、当日回覧資料に基づき、白神岳への気象観測機器設置について、概略次のとおり提案説明があり、審議の結果、承認された。

- (1) 6月29日に青森県の関係職員と本学関係者とで現地を調査したところ、山頂付近では景観上問題があることから設置希望場所について難色を示され、青森県側から代替案を提案された。
- (2) 山頂と代替案の設置場所との標高差は30メートル程度であること、気象観測機器の設置を優先させたいことから、代替案で決定したい。
- (3) 設置許可は5年から10年の期間で申請する予定である。

【報告事項】

1. 所長報告

所長から、資料1に基づき、概略次のとおり報告があり、種々の意見交換があった。

(1) 企画戦略会議

- ① 理事（企画担当）から、教育研究院設置に伴う所属意向調査について、調査書の集計結果が示された。今後は、教育研究院設置に伴う教員配置検討委員会での検討を経て10月までに決定する。
- ② 平成27年度大学教育再生戦略推進費「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の申請内容について説明があった。なお、本研究所は当該申請書の中で、ツーリズム関連産業プロジェクトに関わることが明記されている。
- ③ 大学院入学定員変更計画について、平成32年度から領域融合の研究科を新設し、入学定員を見直すことの説明があった。

(2) 教育研究評議会

- ① 教育研究院設置に伴う諸規則等の改正等について、全学統一人事を行うこと、教員の籍は学系にあるが学部等に専任担当として配置すること、学系・領域・部門の構成は規定していないことの説明があった。なお、研究所としての意見等の有無を回答することとなっているため、意見等がある場合は7月27日（月）正午までに所長へ申し出願いたい。
- ② 平成29年度入学者選抜方法及び実施科目・教科等について、文部科学省の意向で推薦入試からAO入試への転換が求められていることから、AO入試を強化する旨の説明があり、了承された。なお、本件は7月下旬に公表することとなっている。
- ③ 青森ブランド価値創造研究の公募に関連して、青森県基本計画未来を変える挑戦における戦略プロジェクトの概要に関する資料が配付された。
- ④ 平成26年度科研費採択件数トップ50大学の資料が示され、弘前大学は採択件数に対する論文数が少ないことの報告があった。

2. 平成28年度概算要求に係る検討状況

所長から、平成28年度概算要求に係る検討状況について、現時点では本研究所が実施する環境モニタリング事業の位置付けなどが不透明な状況であり、文部科学省とのやり取りを踏まえて次回の教授会で詳細を説明する旨の報告があった。

(報告事項3. 白神岳への気象観測機器設置については審議事項とする旨の説明があり、了承された。)

3. ウラジオストク植物園研究所との研究連携について

専任教員から、ウラジオストク植物園研究所との研究連携について、ロシアへの出張日程は11月8日から12日までの4泊5日で計画していること、共同セミナーは11月9日、10日、11日のいずれかで実施すること、参加希望がある兼任教員は8月10日までに所長又は専任教員に申し出願いたいことの報告があった。

4. 大学博物館等協議会・博物科学会報告

専任教員から、資料2に基づき、6月25日から26日に金沢大学において開催された大学博物館等協議会及び博物科学会で、ヴァーチャル・ミュージアムの現状と目指すものについて講演やパネルディスカッション等が行われたこと、次年度の当番校は広島大学であることの報告があった。

5. 附属白神自然観察園利用計画について

事務から、資料3に基づき、前回の教授会での報告以降、新たに施設利用申請のあった5件について報告があった。

6. その他

(1) レンタルラボの活用について

副所長及び専任教員から、収蔵標本の地域への公開等を目的に申請していたレンタルラボの利用許可を受けたこと、今後は総合教育棟に保管している標本をレンタルラボに移動し教職員・学生・一般市民等に開放すること、総合情報処理センターに仮置きしている収納庫等を総合教育棟に移動することの報告があった。

(2) 気象観測機器監視用カメラの購入について

所長及び兼任教員から、気象観測機器を監視するためのカメラの購入について提案説明があり、予算状況や画質等を勘案して9月の運営会議及び教授会で検討することの報告があった。

(3) 津軽ダム建設事業に伴う発掘調査成果の一般公開について

兼任教員から、7月26日に西目屋村川原平遺跡の発掘調査成果が一般公開される旨の案内があった。

次回以降の教授会について、8月は休会とし、9月は9月25日(金)9時00分から開催することとした。

以上